

子どもたち	一四号	発行 社会福祉法人 路交館広報部
あいどる		発行責任者 枝本 信一郎
		編集 あいどる編集委員会(津崎・西野)
		〒533-0023 大阪市東淀川区東淡路2-7-5
		TEL06-6321-3201 FAX06-6321-2977
		ホームページアドレス <a href="http://www.rokoukan.or.jp">http://www.rokoukan.or.jp</a>
		掲載の写真はアンケートに基づき掲載しています。



北丘「スイカの種を飛ばして美味しく楽しく食べました！」



ほっと「夕涼み会、わたがし販売しました」



淡路プール初体験!!



ウイリッシュュ「流しそうめん」

# 夏のキラキラ笑顔



桜の園「冷たいと思ってたけど、気持ちよかった！」



ういず守口・滝井「おまえとおったらおもしろいわ」



豊新「水の中でハイチーズ！」



わかぐさ「すいかわり、えいっ!!」

## インクルーシブ教育の肝は…

2006年に国連で採択された障害者権利条約で、障害児者の教育（生涯教育を含む）について、インクルーシブ教育を実施すべき義務を締約国に課されてから久しい。それなのに日本では、少子化で全体の児童数が減っているにもかかわらず、特別支援学校への就学が増え続けている。なぜだろう。

障害者権利条約（24条）は、「インクルーシブ教育」の言葉こそ使われていないが、条約文に特有の難解な言葉と言い回しで取っ付きにくいものの、普通学級で障害を持つ子も持たない子も共に普通に教育を実施すべきことを定めているとしか読めない。ということとは、日本の特別支援学校が大繁盛している現状は、条約上の義務の不履行としか思えないのである。

どうも、障害者権利条約が国連で採択されたのちの2007年に、それまでの養護学校制度を特別支援学校制度に変え、さらに、2013年に学校教育法施行令の一部を改正して2014年の同条約の批准にこぎつけているところを見ると、言葉や制度の上では条約に反していないというのが文科省の見解なのだろうが、普通の地域の小中学校とは別に、特別支援学校があり、しかもその数も在籍児数も増え続けているとなると、何ともまよかしに思えてしまう。

実は、インクルーシブ教育の義務化が言われ始めたころ、今の（普通）学校の状況の中で、インクルーシブ教育の一般化（＝全校での実施）ができるのだろうか？と内心疑問を持っていた。

確かに、素晴らしいインクルーシブ教育の実践例もあまたあり、学校や学級単位で熱心にこれに取り組んでいる先生方が多数いることも知らないわけでもない。しかし、いじめ問題に限らず、発達障害児の問題がやみくもに問題化されている状況を見るにつけ、異質を排除し画一化というか「みんな一緒」を良しとする風潮が、教育現場に蔓延しているように思うのである。これではインクルーシブ教育が定着しようもない。

実際、教壇に立つ先生の立場から考えてみると、カリキュラムに沿って一斉に授業を行おうとすると、異質な子とかやこしい子がいたりすると、たいへんだろうな—と試してみたりもする。特に知的遅れを伴わない発達障害児の場合、「出来るはずなのに何で出来ないや（しないんや）」との思いに捕らわれ、その子を「問題児」として捉え、時には嫌いになってしまったりもする。当然、その子も先生に信頼を寄せることができなくなる。基本的な信頼関係が崩れてしまうと、教育そのものが成り立たない。

## 路交館理事長 枝本 信一郎

このような状況では、「（社会的な生きる力はさておいたところで）わが子の力を少しでも伸ばせば何とかなれるかもしれない」という幻想に捕らわれている親御さんでなくても、我が子の進路として特別支援学校を選ばざるを得ない気持ちは十分に理解できる。

それ以上に、今の地域の学校は障害児をはじめとした「ちょっと変わった子」にとって、その存在さえ否定されかねないところになってしまっているように思う。これでは、障害児ならずとも、誰しもが生きにくい場所になってしまい、創造力を育むどころか、自尊感情や自己肯定感を損なう場になってしまいそうである。

どうも、教材の準備から評価に至るまでの授業の全過程を「先生」が独占し、ただただ「先生」が忙しく頑張っていて、あの手この手で教壇から子どもたちに知識を詰め込むことに汲々としてさせられていることに問題があるように思えてならない。

子どもの権利条約（1984年国連採択・1989年批准）が、子どもが教育にアクセスする（参加する）権利を明言したことが忘れられているのではなからうか？

教育に関わっての国際的な流れは、子どもの権利条約から、1994年のサラマンカ宣言を経て2006年の障害者権利条約と連なっているが、これらの背景には国際的な潮流としての参加型・対話型の教育があるように思える。全くの素人考えだが、この参加型・対話型の教育の流れから離れたところで、インクルーシブ教育の一般化が実現するようには思えない。聖愛園の場合、通常言われる意味での参加型・対話型の教育を行おうとしたわけではないが、聖愛園を子どもたちの自主的な遊びの場としての「原っぱ」にしていること、1981年以来「たてわり」保育を実施してきている中で、ともかくも障害児を排除する必要がない教育・保育を実現してきた自負を持っている。

もちろん、聖愛園の保育が万全であると言うつもりはない。多くの失敗や間違いを犯してきたし、今も試行錯誤を重ねているつもりではある。それでもなお、子どもたち主体の「原っぱ」を聖愛園に実現しようと、子どもたち同士での話し合いによる自主的な問題解決を目指すことで、聖愛園の教育・保育への子どもの参加をある程度実現できたように思う。だからこそ、障害児を排除する必要がない教育・保育を実現できたと、自負できるのではなからうか。（9月）

## 幼保連携型認定こども園 豊新聖愛園

「保育所豊新聖愛園」は2017年4月1日より「幼保連携型認定こども園豊新聖愛園」に認可変更しました。開所時間はこれまでと変わらず、夜間に保育が必要な保護者のニーズにこたえ、これまでと変わらず子どもたちに教育保育をおこなっていきます。

そして、この10月からは1号認定の認可も受け、保護者の就労の有無に関わらず教育時間(4時間)の提供ができるようになりました。地域に密着し、保護者とともに子どもたちの育ちに関わっていききたいと思います。

今年は、新聞やテレビなどいろいろなメディアにも多数取り上げられ世間の注目や関心の大きさを感じます。しかしながら行政との温度差にはまだまだ越えなければいけない課題はあります。これからも、必要とされる保護者のパートナーとして「幼保連携型認定こども園 豊新聖愛園」として歩んでいきたいと思ひます。

幼保連携型認定こども園 豊新聖愛園  
園長 中川 かをり



## 豊新聖愛園 ゆりさんがんばれ!~びわ湖一泊応援団~

豊新聖愛園では、たてわり保育で3歳児(いずみさん)、4歳児(ひつじさん)、5歳児(ゆりさん)が1つのクラスと一緒に日々生活しています。

毎年夏には、びわ湖一泊保育というゆりさんにとって大きな行事があります。約1ヶ月前から取り組みが始まってその間、いずみさん、ひつじさんだけで過ごしていくので、いつも一緒にいてくれる大好きなゆりさんがいなくなるのは、いずみさんにとってとても寂しくて不安になります。そこで、ひつじさんがゆりさんの代わりにペアになったいずみさんを気にかけてくれるのですが、呼ぼうとしてもいずみさんは来てくれなかったり「ゆりさんがいい」なんて言われたりして、ひつじさんはゆりさんが“すごいことをしてるんだなあ”ということを目の当たりにしました。ゆりさんへ尊敬や憧れを抱き、“自分たちも頑張らないと”とやる気も見せてくれました。少しずついずみとひつじで過ごす日を重ねるにつれて、段々と信頼関係を築いていきました。一泊保育を園のみんなで応援する『びわ湖一泊激励会』では、手作りのお守りとダンスをプレゼントして「びわ湖頑張ってるね」「ゆりさんがいない間、頑張るよ」の気持ちを伝えました。さらに今年は「どんなふうゆりさんを応援したい?」と聞くと「ゆりさんにお手紙を書きたい!」という声が上がりました。そこで、びわ湖に行っている現地のゆりさんに届くよう郵便局まで行って手紙を送りました。びわ湖から帰ってきたゆりさんがみんなの手紙を手に「手紙届いたよ、ありがとう!」と報告に来てくれると、自分たちで出来た気持ちとゆりさんが喜んでくれたことで「やったー!」

とみんな大喜びしていました♪この手紙が届いた



ゆりさんに届きますように  
☆祈りを込めて、投函!

事でゆりさんたちも、いずみさん、ひつじさんの気持ちが届き、頑張れたようです。これからもにじぐみみんなで力を合わせて取り組みを達成していってほしいと思ひます。

3・4・5歳児クラス にじぐみ担任 越後 直之



いずみさんひつじさん!  
お手紙届いたよ、ありがとう!

## ういず守口 クロスロード よりお知らせです♪

クロスロードでは毎日、守口・千林駅前・商店街で朝10時~12時で販売活動を行っています。お菓子の小売りもしていますのでお近くにいられた際は、是非お立ち寄り下さい。心よりお待ちしております。

### 『ギフト販売について』

クロスロードでは1000円・2000円・3000円のギフトを取り扱っております。

内容も季節によりバラエティーに富んだ商品も取り揃えております。

お中元・お歳暮・進物用にと大活躍!!おひとついかがですか?

お問い合わせ先

☎06-6996-1715 担当:松山

Open 9:30 Close 15:30



## 幼保連携型認定こども園聖愛園(1,2歳児)～やんちゃっこ広場～

7月19.20.21日に、ひまわり組、たんぽぽ組、ちゅうりっぷ組でやんちゃっこ広場があり、たくさんの保護者の方々にご参加いただきました。普段とは違った雰囲気にとドキドキしている子どももいましたが、おはようの挨拶や体操など普段の活動をする中で徐々にリラックスしていき、保護者の方々と一緒に色水あそびや魚つりあそびやプールあそびを楽しみました。

その後のグループ懇談では、お家での様子も聞かせてもらいながら子育ての悩みについて意見交換をしました。園や家庭での子どもの様子や子育てをしていく中で出てくる悩み、子どもが激しく泣いてしまった時にはどうしているのか、子どもにテレビはどのくらい見せているのか等の話をしました。ひとりで悩んでいた保護者がベテランの保護者に意見をもらって安心している様子がみられ、よかったです。  
文責 市田 勇次



## 幼保連携型認定こども園あすなろ～おうち保育～ ～夕涼み会～

わっしょい！わっしょい！の元気なかけ声とともに夜間保育を利用している、子どもたちがおみこしを担いで登場しました。夕涼み会のおみこしは、毎年テーマを決めて作っているんですが今年は、キュウタマダンシングの“たま”にかけて子どもたちと保護者の方々のパワーを集めて大きな銀の玉の飾りを付けました。おみこしの飾りは、お迎えの時に、親子で協力して作ってもらい全員参加の達成感を味わってもらっています。そして、夜間保育を利用している3・4・5歳児の子どもたちは、夕涼み会までにドラえもん音頭の振り付けを自分たちで考えて昼間の子どもたちに教えに行きます。この時ばかりは、園の子どもも大人も一緒になって盆踊りの練習を楽しみます。そして、小学生は、毎年、曲に合わせて太鼓をたたきます。5歳児さんは、小学生になったら太鼓をたたくことに憧れの気持ちをもっています。  
文責 植田 真由美



## 地域子育てセンター

8/26(土)一時保育を利用してくれているお子さんや地域のお子さんと一緒にまつりごっこをしました。わなげやさかなつりのあてなど昔ながらのものから、近年ブームになったカーリングを一時保育流にアレンジして取り入れました。全てが手作り、ゲームコーナーは何度遊んでもOKだったので、何度も挑戦してくれていました。今年度は保護者の方にもわなげのお店番のお手伝いをしていただきました。同じ年頃の子を持つ親同士、お店番をしながら会話も弾んでいました。子どもも親も楽しむことができたまつりごっこだったかなと思います。  
文責 浜口 恵美



## 幼保連携型認定こども園 北丘聖愛園

### ～なかよしDAYからたてわりへ～

北丘聖愛園では、幼児クラスは年齢別とたてわりで活動しています。乳児クラスも「なかよしDAY」として1・2歳児の異年齢を週1回行っています。ふれあいあそび、製作、そして給食など様々な活動をしています。ある日のなかよしDAYで、大きな紙飛行機を作りました。模造紙にクレパスで大人が「飛行機におえかきするよ」と声をかけると2歳児が空いてるスペースをみつけて1歳児に「ここおいで」や「あいてるよ」と誘う姿がありました。ドキドキしていた1歳児は少しづつ緊張もほぐれ嬉しそうに描いていました。今の2歳児が昨年度優しくしてもらった心地よさを感じたからこそ次は「自分たちが」と自分から積極的に関わっている姿がみられます。このとりくみを通して異年齢の交流を経験し、幼児のたてわり活動へとつなげていきます。

文責：朝山



## ういず守口・滝井 メンバー旅行

9月8日(金)・9日(土)メンバー56名、職員26名、総勢82名でバスを使って、三重県の伊賀もくもくファーム⇒鈴鹿・湯の山温泉⇒嵐山トロッコ列車の大旅行に行ってきました。

昨年度までは就労移行支援・就労継続B型メンバー(以下、「就労系」と略)も生活介護も同じ日程を過ごしていましたが、今年は2日目のお昼から就労系はグループごとに自由行動をし、交通機関を利用して帰る計画を立てました。毎年、メンバー旅行の取り組みとして各事業より代表を選出し、メンバー旅行委員会を発足し、内容・計画・企画・準備をします。その中で、就労系のメンバーから「今年は、生活(介護)とは別で帰りたい!!」「今までの、外出の積み重ねを試してみたい!」「宴会も就労だけなら、もっと、色んな事ができるんじゃない!」との声を大切にし、2日目の昼食後は、各事業別で行動しました。

いつもは遅刻が多いメンバーが、いつもより早い時間に集合して、旅行を楽しみにしている様子が伺えました。1日目、三重県もくもくファームでは、農場見学を各チームで周りました。ザリガニ釣りをしたり、牧場を見学したり、ミニ・ブダショーを見たりしました。ハンモックの森というハンモックでゆったりできる場所があったのですが、そこでは、メンバーも職員も乗り、揺らしあいをしました。激しく揺らされ怖がる職員の姿に、目を輝かせ、大笑いしながら日頃の憂さ晴らし?を楽しんでいるメンバーの顔が見られました。宿泊先では、夕食時に、お芝居、ダンス、クイズと年々凝ってきている恒例の大宴会。みんな、生き生きした表情で盛り上がりました。その後の自由時間には違う部屋に遊びに行き、おしゃべりを楽しんだり、メンバーだけの部屋では、カップラーメンを食べたりと、それぞれの時間を楽しんだ様子でした。2日目は、京都の亀岡から嵯峨嵐山までをトロッコ列車で移動。ガタガタと音を立てながら保津川峡から見える景色を楽しんだり、怖がったり。列車を降りてから約20分程歩き嵐山で昼食。昼食終了後、3事業ある就労系は、錦市場、嵐山散策、モンキーパークとそれぞれが計画した行動へ。メンバーの体調を考慮し、その場で予定を変更したり、予定時間より30分オーバーで帰設ということもありましたが、自分達で計画した予定を楽しみました。旅行終了後の職員での『旅行振り返り』では、『電車の乗り換えを間違っただけど、メンバー同士でどの電車に乗れば良いのかを相談して乗る事ができた。』『金銭のやり取りが苦手なメンバーを分かるメンバーが手を貸すなど、メンバー同士の助け合いが見られた。』等の声が聞かれました。普段の活動では見ることの出来ないメンバー同士の繋がりの姿が見られ、メンバーだけでなく職員の自信にも繋がりました。就労系のいない生活介護だけの帰りのバスは少し淋しい気もしましたが、毎年、少しずつ新しい試みを行う事で、メンバー主体の楽しい思い出に残る旅行になってきていると思います。

文責：西野・津崎



錦市場で観光買い物



ゆれるハンモック

## 桜の園 パン工房より



桜の園パン工房でパンを焼き始めてから1年が経ちました。路交館障がい児者系事業所での給食パンの提供から始まり、聖愛園・豊新聖愛園・北丘聖愛園からの注文や、北丘聖愛園での訪問販売、大阪府庁こさえたん outlets と少しずつ活動の場は広がっていき、今年の6月から桜の園での地域の方への店頭販売を始めました。店頭販売では、初日に向けて手作りのチラシをメンバーみんなで1件ずつ近隣のお家に配り、そのチラシを持って来てくださるお客様も多く、「よかったねー」「もっと配ろう!」とみんなで喜びました。

8月7日より守口市役所で市内の福祉事業所で作ったパンやクッキー、お菓子などを市役所1階のイートインスペースで販売する「ふれあい広場」がオープンし、桜の園パン工房も出店しています。

地域の方に桜の園パン工房を知ってもらう機会も増え、パン工房の仕事を通し色々な場所でたくさんの方に会えることをメンバーさんも職員も楽しんでます。おいしいパンとメンバーさんの元気をみなさんにお届けできるよう今後も気持ちを新たに頑張ります!

(文責 与村みき)



☆パン工房へのお問い合わせ…TEL: 06-6992-0697 担当: 井上・高野・森田

## ウィリッシュ 地域夏祭り

今年度も東淡路・柴島地域夏祭りにて「あてもの」を出店させていただきました。出店前から毎日お店の練習をメンバーさんと取り組み、この日がやってきました! 職員の方が経験なく焦る一方でしたが、先輩メンバーさんの「落ち着いていきや! 大丈夫やから!」と言わんばかりの落ち着いている姿を見て学び、無事やり遂げることができました!

(文責 尾中瑞紀)



毎年大盛況の「あてもの」ですが、今年もたくさんのお客様がお越しくださいまして、誠にありがとうございました!

## わかくさ ～自分たちで成功させる!～ポプラキャンプ in 信太山

ポプラでは、障がいをもつ中高生が放課後や学校休業日に来て、友だちと一緒に日々の活動を通して色々な経験や仲間作りをしています。

ポプラでは、8/18(金)、19(土)と、毎年恒例のキャンプに行ってきました。行き先は信太山青少年野外活動センターです。同じ場所で4年目ということもあり、多くのメンバーさんにとっては慣れたもの!ですが、今年は初参加のメンバーさんが3名いて「どんなキャンプになるのかな〜?」とメンバーも職員もドキドキワクワク、楽しみでした。

キャンプの目標は、「声を掛け合って、自分たちで成功させるキャンプ!」です。

1日目の夜はキャンプファイヤーを行いました。夏休みに入る前から、活動時間にダンスやグループに分かれて出し物の影絵の練習をしてきました。最後のダンス数曲は、ポプラの部屋で練習していても、終わった時にはみんな汗だく。当日は、燃え盛る炎の前でのダンスだったので、終わった時には滝のような汗でした。当日、ダンスが終わる頃、「終わった〜!」と座り込んだメンバーさんに、「バギーに座って少し休憩する?」と声を掛けましたが、その時に日頃活動で踊っているEXILEのチューチュートレインがかかり、みんなが続けて踊り出すと、「無理せんで良いよ。」の職員の言葉も振り切り、立ち上がってみんなの輪の中に入り踊っていました。

2日目は、飯盒炊<sup>はんごうすい</sup>さんで昼食のカレー作り。材料を洗う、切る、火を起こして煮込むかまど係に分かれてポプラでも何度も練習をしてきました。今年かまど係になったのは、キャンプ初参加のメンバーさん。かまどの前に座り込んで、顔を真っ赤にして火の様子を見てくれていました。一人ひとりの頑張りで、お鍋を開けた時には「お〜!おいしそう!」とみんなから歓声があがりました。

友だちの姿を見て、「自分もやりたい!」と活動に入ったり、「自分の係をやることで、みんなのカレーができる!」と自分の係をやり切ったり、友だちの中で頑張る姿や、良い顔がたくさん見られた2日間でした。

(文責:北野美絵)



## ～ほっとコミュニティういる デイキャンプ(カレー対決)～

今年度、ほっとでは舞洲キャンプ場に行きデイキャンプを行いました。

メインはいつも一緒に仕事をしている班(3班)に分かれてのカレー対決です!!

何カレーにする?材料買出し。火をおこす人は?材料カットする人は?と相談を繰り返し当日は各班力作のカレーが出来上がりました!! 優勝した「ほっとミートなすカレー」は後日、昼食のメニューとして厨房で再現。みんなでおいしい方いただきました。

(文責 阿部良規)



あいどる (社会福祉法人 路交館 広報誌) 2017年秋号

貸借対照表  
2017年 3月31日現在

(単位:円)	
勘定科目	全体
流動資産	264,272,448
現金預金	67,871,453
事業未収金	190,277,236
未収金	707,725
未収補助金	4,312,000
貯蔵品	5,496
原材料	1,148,966
仮払金	595,000
徴収不能引当金	-645,428
固定資産	1,386,733,226
基本財産	1,059,689,684
土地	132,360,604
建物	927,329,080
その他の固定資産	327,043,542
土地	29,956,361
建物	90,004,740
構築物	51,706,084
機械及び装置	24,080,640
車輛運搬具	652,022
器具及び備品	31,831,305
有形リース資産	6,482,547
ソフトウェア	3,984,996
退職給付引当資産	60,152,270
備品等購入積立資産	2,000,000
保育所施設・設備整備積立資産	10,000,000
工賃変動積立資産	1,075,089
設備等整備積立資産	3,232,406
差入保証金	9,709,000
長期前払費用	2,176,082
資産の部合計	1,651,005,674
流動負債	168,471,626
短期運営資金借入金	61,889,206
事業未払金	11,857,479
1年以内返済予定設備資金借入金	31,392,071
1年以内返済予定長期運営資金借入金	7,210,800
1年以内返済予定リース債務	2,905,092
預り金	5,307,891
職員預り金	4,370,624
賞与引当金	43,538,463
固定負債	533,786,234
設備資金借入金	450,142,800
長期運営資金借入金	13,340,000
リース債務	3,577,455
退職給付引当金	66,725,979
負債の部合計	702,257,860
基本金	320,745,568
基本金	320,745,568
国庫補助金等特別積立金	413,286,899
国庫補助金等特別積立金	413,286,899
その他の積立金	16,307,495
備品等購入積立金	2,000,000
保育所施設・設備整備積立金	10,000,000
工賃変動積立金	1,075,089
設備等整備積立金	3,232,406
次期繰越活動増減差額	198,407,852
次期繰越活動増減差額	198,407,852
(うち当期活動増減差額)	-7,118,192
純資産の部合計	948,747,814
負債及び純資産の部合計	1,651,005,674

事業活動計算書  
(自) 2016年 4月 1日 (至) 2017年 3月31日

(単位:円)		
勘定科目	全体	
サービス活動増減の部	収益	756,389,796
	保育事業収益	16,174,874
	就労支援事業収益	860,054,841
	障害福祉サービス等事業収益	2,805,278
	その他の事業収益	1,073,220
	その他の収益(助成金)	7,918,799
	経常経費寄附金収益	
	サービス活動収益計(1)	1,644,416,808
	費用	1,223,935,197
	人件費	146,257,927
事業費	194,821,506	
事務費	24,581,728	
就労支援事業費用	7,410,620	
利用者負担軽減額	67,676,553	
減価償却費	-17,725,114	
国庫補助金等特別積立金取崩額	973,721	
徴収不能額	645,428	
徴収不能引当金繰入		
サービス活動費用計(2)	1,648,577,566	
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	-4,160,758	
サービス活動外増減の部	収益	1,810
	受取利息配当金収益	30,113,784
	その他のサービス活動外収益	30,115,594
	サービス活動外収益計(4)	
	費用	6,494,119
支払利息	21,611,080	
その他のサービス活動外費用	28,105,199	
サービス活動外費用計(5)	2,010,395	
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	-2,150,363	
経常増減差額(7)=(3)+(6)	-6,311,121	
特別増減の部	収益	9,145,000
	施設整備等補助金収益	1,976,370
	施設整備等寄附金収益	532,429
	その他の特別収益	
	特別収益計(8)	11,653,799
	費用	7,791,516
	基本金組入額	327,360
	固定資産売却損・処分損	-1,101,600
	国庫補助金等特別積立金取崩額(除)	9,145,000
	国庫補助金等特別積立金積立額	459,352
その他の特別損失		
特別費用計(9)	16,621,628	
特別増減差額(10)=(8)-(9)	-4,967,829	
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	-7,118,192	
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)	206,029,264
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	198,911,072
	基本金取崩額(14)	
	その他の積立金取崩額(15)	816,780
	その他の積立金積立額(16)	1,320,000
次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	198,407,852	

※2016年度として、以下の方々よりご寄附をいただきました。

ありがとうございます。心より厚くお礼申し上げます。(敬称略、順不同)

松尾弘樹、指宿聡敦、募金委員会、社会福祉法人大阪手をつなぐ育成会 守口市部、地域生活総合支援センター いま、特定非営利活動法人 ゆうゆう会、守口市立 わかたけ園、センター ケア、NPO法人 ゆうかりオフィス守口、社会福祉法人 阿望仔、就労継続支援 ようき・すなお、八雲地域コミュニティ協議会会長 奥日時雄、山中多美男、池田和美、鈴木昭子、松島友香利、小林成香、萬田有子、豊新聖愛園保護者会、鈴木照子、尾崎写真事務所、館山英夫、ライフページ・セノオ、育和白鷺学園、阪口クリニック、コタニ薬局、大阪成蹊短期大学、北丘聖愛園保護者会、正迎寺、小川勝、あすわーく 山内、山本智子、タイム企画旅行社 松宮正治、小島勇・知子、中川満、聖愛園・あすなろ保護者会、社会福祉法人 大阪自彊館 メゾンリバルテ、大西トモ子、櫛ビクター特販、枝本佐和子、たはら眼科、海鷗トラベル、大山道子、浅田和義、フェスタ委員会、侑淀川技研工業、日佐和夫、関西学院大学、林光行、田中進三、山縣文治、医療法人橋本クリニック、大阪淡路教会、支える会、後援会、法人職員 138名、その他匿名でご寄附をいただいた皆様。各事業所に設置しました募金箱にもたくさんの募金をいただきました。ありがとうございます。

# 路交館 これからの予定

<p><b>聖愛園・あすなろ・地コセ</b></p> <p>10月4日(休) おうち屋上でお月見(あすなろ)          10月9日(月) うんどう会 (聖愛園)          10月18日(水) すずらん親子ピクニック(地コセ)          10月26日(木) 2～5歳児 秋の遠足 (聖愛園)          10月31日(火) おうちハロウィン(あすなろ)</p> <p>11月3日(金) 路交館フェスタ          11月8日(水) 子育て講座&lt;ヨガ&gt;(地コセ)          11月14日(火) おうち屋台屋さんごっこ(あすなろ)          11月30日(日) 子育て講座&lt;クリスマスカード&gt;(地コセ)</p> <p>12月9日(土) 生活発表会(聖愛園)          12月15日(金) すずらんクリスマス会(地コセ)          12月20日(水) クリスマス会(聖愛園)          12月25日(月) おうちクリスマス会(あすなろ)</p> <p><b>東淡路子ども館</b></p> <p>10月29日(日) 東淡路子ども館うんどう会          11月3日(金) 路交館フェスタ          12月16日(土) つくしフェスタ</p>	<p><b>北丘聖愛園</b></p> <p>10月7日(土) うんどう会          10月27日(金) 園外保育 3～5歳児(バス遠足)          10月28日(土) 地域ふれあいDAY          11月3日(金) 路交館フェスタ          12月2日(土) 生活発表会          12月19日(火) 地域クリスマス会          12月22日(金) クリスマス会</p> <p><b>豊新聖愛園</b></p> <p>10月14日(土) ふれあいうんどうかい(予定)          10月15日(日) ふれあいうんどうかい(予備日)          10月20日(金) カレー大作戦          10月27日(金) 子どもカーニバル(ハロウィン)</p> <p>11月3日(金) 路交館フェスタ          11月25日(土) 生活発表会道具作り</p> <p>12月9日(土) 生活発表会          12月11日(月) 発表会やったぞパーティー          12月22日(金) クリスマス会          12月29日(金)～1月4日(木) 冬期休園日</p>	<p><b>桜の園</b></p> <p>10月9日(月) スポーツ大会          11月花交流スタート          11月3日(金) 路交館フェスタ          11月5日(日) 守口市民祭り          11月12日(日) 北部文化祭</p> <p>12月予定          リンゴ販売          もりもりギフト販売          12月29日(金)～1月3日(水) 桜の園閉所</p> <p>パン工房          桜の園店頭販売 毎週水曜日11時～14時          大阪府庁アンテナショップ 毎月第1・3・5火曜日          守口市役所ふれあい広場 日にち未定          北丘聖愛園保護者向け販売 11月10日(金)16時～18時</p> <p><b>わかくさ</b></p> <p>ボプラ          11月 摂津淀川マラソン</p> <p>さくらんぼ          10月11日(水) 保育参観          11月7日(火) フチ遠足          12月16日(土) クリスマス会</p>
---	--	--

## ★後援会加入&寄附のお願い★

路交館後援会へ加入のお願いです。会費は一口1,500円からで、あいどるの郵送料などに使わせていただきます。後援会費は入金日より1年間有効です。ご協力のほどよろしく申し上げます。また、当法人の保育・活動にご賛同・ご支援いただける法人・団体・個人の皆様からのご寄附の協力をお願いしています。お寄せいただいた寄附金は、各施設の施設・設備整備、借入金の返済等に使わせていただきます。皆様からの暖かいご支援・ご援助を心からお願い申し上げます。※どちらも同封の払込用紙を使っただけであれば、手数料は当法人負担になります。

### ☆給食総選挙☆ ～北丘聖愛園編～

前号142号よりおこなっている4カ園による「給食総選挙」。今回は北丘聖愛園が担当しました。子どもも職員も毎日楽しみにしているおやつで選挙を行いました。たてわり(3・4・5歳児)と2歳児と職員が一番好きなおやつにシールを貼ってもらいました。「みてみて、これにしてん!」と子どもたちは嬉しそうに友だちや保護者に伝える姿がとっても印象的でした。

#### <この三つのおやつで総選挙をしました>

##### 1. ジャムカップケーキ

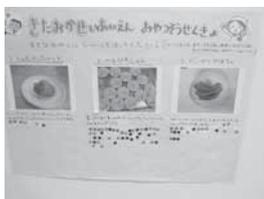
お誕生日会に登場するおやつで、ホットケーキミックスを使用したカップケーキです。好きなジャムを加えてアレンジできます。オープンで焼くと給食室内はおいしい香りでいっぱいです。カップケーキなので子どもたちにも食べやすいおやつです。

##### 2. カルピスジュレ

暑い日にツルっと食べやすいメニューです。ジュレの上には桃缶をトッピングしていて、見た目も涼やかです。

##### 3. だいがくかぼちゃ

おいもじゃなくかぼちゃですよ! 薄くスライスしたかぼちゃを揚げてホットケーキシロップをかけて食べます。お野菜を使ったおやつです。



### ☆☆☆総選挙の結果☆☆☆

- 1位…カルピスジュレ 74票
- 2位…だいがくかぼちゃ 45票
- 3位…ジャムカップケーキ 13票

ダントツで、カルピスジュレが一位となりました!

#### <カルピスジュレ>

- 材料
- カルピス……………100cc
  - 砂糖……………小さじ2
  - 水……………300cc
  - トッピング用フルーツ…適量
  - アガー……………10g

作り方

- ① アガーと砂糖をボールに入れてよく混ぜておく。
- ② 鍋に水を入れ、①を加え沸騰させる。
- ③ アガーが溶けたら10分程度冷ます。  
(高温のままだとカルピスが分離するため)
- ④ ③にカルピスを入れよく混ぜ、好きな型に流し入れ冷蔵庫で固める。
- ⑤ お好みのフルーツを添えて完成★



## ～路交館フェスタ～

2017年11月3日(金・祝)

時 間: 11時00分～14:30分<雨天決行>

開催場所: 聖愛園園内・東淡路南公園(汽車公園)



### 編集後記

今回の143号は、ういず守口・滝井が編集担当させていただきました。表紙のキラキラ笑顔はいかがでしたか? 11月3日の路交館フェスタ、キラキラ笑顔に是非、会いに来てください!

編集担当 あいどる委員 西野・津崎

# 路交館 フェスタ

2017年度

11月3日(金・祝)

時間:11:00~14:30<雨天決行>

開催場所:聖愛園園内・東淡路南公園(汽車公園)

食堂・食べ物コーナー  
カレー・おでん・焼きそば  
からあげ・たこやき・ポテト  
他

イベントステージコーナー  
ダンス・歌・太鼓・手話他

ゲームコーナー  
スーパーボールすくい  
あてもの・1円落とし・他

こどもコーナー  
プラ板・スライム他

活用品コーナー

\*会場の駐輪所スペースが限られていますので、  
駐輪出来ない場合があります。ご了承下さい。



- ウィッシュ・ういづサポートセンター・ういるハウス・ういるホーム・ういづ滝井
  - ・ほっとコミュニティういる・ういづ守口・ういづサポートセンター守口
  - ・桜の園・さくら・ういづサポートセンターさくら
  - ・児童発達支援センターわかくさ・幼保連携型認定こども園聖愛園
  - ・幼保連携型認定こども園あすなろ(夜間)
  - ・東淡路子ども館・幼保連携型認定こども園北丘聖愛園
  - ・幼保連携型認定こども園豊新聖愛園(夜間)
  - ・東淀川区子ども・子育てプラザ
- 主催: 社会福祉法人 路交館  
共催: 日本キリスト教団 大阪淡路教会